

～保護者の皆様へ～

スクールカウンセラーだより

平成 27 年度 No. 7

尾張旭市立旭小学校

SC 勝部達也

こんにちは。スクールカウンセラーの勝部達也(かつべたつや)です。はやいもので、もう今年も終わりですね。どのような1年であったでしょうか。風邪など流行していますので、くれぐれも体調管理にはお気を付け下さい。

さて、今年も終わりということで、1年の節目を迎えました。“今年は〇〇が頑張れなかったから、来年は〇〇を頑張ろう！”などなど、まだ少し早い話題かもしれませんが、1年の区切りは、新たなスタートを切りやすいタイミングですね。

こうしたとき、何事でも目標を持ち、前向きな気持ちで頑張ることはとても良いことです。ただ、大人の私たちでさえ、うまくはいかず挫折してしまうことはありますから、まだまだ発展途上の子どもたちにとっては、思ったようにいかないことの方が多いのではないのでしょうか。

そう考えてみると、まだまだ、この世界に慣れ親しんでいない子どもですから、目標に限らず、勉強やクラブ活動、友達関係などなど、“こうしよう！”と自分なりにイメージして頑張ってはみるけども、結局、思ったようにうまくはいかず、泣き顔やふくれっ面で家に帰ってくるということは往々にしてあるのではないのでしょうか。

そうしたトライアンドエラーを何度も繰り返す中で、子どもは、世界という現実を知り、成長をしてゆくという面もあるので、大切なことでもあるとは思いますが、こうしたときにどのように見守ればいいのかというのは周囲にとっては大変、悩ましいことだと思います。今回は、子どものトライアンドエラーをどのように見守るかということを考えてみたいと思います。

ここで、子どもの成長過程を考えてみます。まず、生まれたばかりの赤ちゃんは、お母さんの腕の中が世界の全てであり、母親に守られています。そこから、幼稚園、小学校と成長するにつれて、母親と離れて生活することになるので、半ば強制的に一人での冒険の旅が始まります。ただ、そうはいっても、冒険の地図は持っていませんし、世界がどのようなもので、冒険の先に何が待ち受けているかなど、彼らは全く知りませんから、一つ道を開拓すればすぐに宿に帰り、旅の疲れと傷を癒し、パワーが充電できると、また冒険の旅に出るということを繰り返してゆきます。そういった過程の中で、世界を生き抜く力をつけてゆくでしょう。

このように考えると、子どものトライアンドエラーは、冒険中に生じたミスと考えることができます。すると、彼らは冒険の疲れとミスをしたことによる心の傷を癒さなくてはなりませんから、パワーを充電できる宿が必要になります。つまり、“こころと身体の充電宿”として周囲が機能してあげることができればいいのだらうということです。老舗旅館のようにどっしりと構えあげていると、子どもたちは知らず知らずのうちにまた冒険の旅に出てゆくようです。

何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

今後の予定（どの日も午前10時30分から午後4時30分までです）

1月28日（木）

2月18日（木）

-----きりとり-----

御相談予約用紙

年 組 名前

相談希望時間 : ~ :

御相談内容（未記入でも可）: